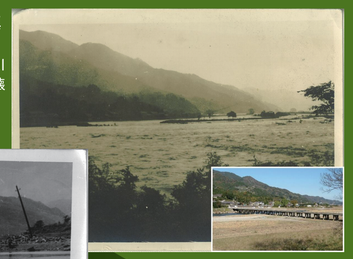
勝浦町 洪水防災マップ

大雨・洪水災害から、
自分や家族の命を守るために・・・

私たちは、町の中心を流れる勝浦川の恩恵を受けて生活しています。しかし、勝浦川は、時として人命や財産を奪います。勝浦町内においても、過去に洪水災害により多大な被害が発生しています。
災害を知り、家族や地域の状況(緊急避難場所や避難経路、想定される被害等)を整理し、いざというときどうすればよいのか事前に考え、予め備えを施し、本番で実践する。災害時、自らの命を守るのは自分自身です。
この洪水防災マップを活用して、みなさん自身の防災力を向上させて下さい！

昭和25年ジェーン台風災害時の写真



星谷橋南詰めから見た勝浦川
星谷でも堤防が決壊

中角の県道沿い
堤防が決壊し、製材所はごっそり流失

ジェーン台風災害は、わずか数時間の間に500ミリ余りの記録的な豪雨により勝浦川が大氾濫し、町内だけでも、堤防が9箇所で決壊、死者5名、流失家屋、27戸等甚大な被害が発生しました。その後の河川改修や正木ダム建設により、こうした甚大な洪水災害は発生していません。
しかし、近年、地球温暖化の影響により、局所的豪雨災害の発生頻度が高まっているほか、山林の荒廃による保水力の低下、堤防の老朽化、防災意識の低下、高齢化等により洪水災害に対する被災リスクは高まっています。

平成28年3月作成

緊急持出品

●すぐ使うもの
- □緊急持出袋
- □懐中電灯
- □軍手
- □雨カッパ
- □長靴か靴
- □杖や棒

●持出袋に常時入れておくもの
- □ラジオ
- □予備電池(ラジオ・懐中電灯)
- □着替え用の下着
- □タオル
- □現金(小銭を含む)
- □免許証コピー
- □健康保険証コピー

●避難準備時に入れるもの
- □衣類(服・ズボン・靴下)
- □携帯電話(充電器)

●家族に応じて必要なもの
・高齢者・病人
- □常備薬
- □介護用品
- □入れ歯

・乳幼児
- □ほ乳瓶
- □ミルクや離乳食
- □ミルク用飲料水
- □紙おむつ，お尻ふき
- □母子手帳

家族で確認しておきましょう

①洪水時の緊急避難場所
②洪水時の緊急避難場所までの道順
③危険な箇所
④避難の判断基準
⑤家族との連絡方法
などについて、家族で話し合って確認しましょう。

気象情報に注意しよう

梅雨期や台風シーズンなど、洪水が起こりやすい時期には、テレビ・ラジオ・新聞の天気予報に注意し、天気の荒転や周囲の状況の変化に気を配りましょう。

一人暮らしのお年寄りなど災害時要配慮者に気を配ろう

一人暮らしのお年寄りや妊婦等、災害のとき配慮を要する方に対して、ふだんから積極的なコミュニケーションを心掛けましょう。また、災害時には、こうした人達の避難に協力しましょう。

気象警報・注意報

	大雨	洪水	土砂災害警戒情報
注意報	大雨によって災害が起こる恐れがある	洪水によって災害が起こる恐れがある	大雨による土砂災害発生の危険度が高まった状態です。
警報	大雨によって重大な災害が起こる恐れがある	洪水によって重大な災害が起こる恐れがある	土砂災害の恐れのある地域の方は、土砂災害の前兆現象がないか、頻繁に確認して下さい。
特別警報	大雨によって重大な災害が起こる危険性が非常に高まる		また、土砂災害の前兆現象をとらえた方は、町からの避難勧告や避難指示を待つことなく、至急、安全な所へ避難して下さい。

発令

注意報：戸別受信機の電源が入っているか確認して下さい。電池が切れていないか確認して下さい。
テレビ・ラジオ等の情報に注意して下さい。

警報：防災無線の情報に注意し、避難準備・避難勧告等が出された場合、すみやかに対応できるよう準備して下さい。
浸水により被災する恐れが生じた場合は、町からの避難勧告や避難指示が出るのを待つことなく、すみやかに自主避難をしましょう。

特別警報：町からの避難勧告等に従い、直ちに緊急避難場所に避難して下さい。
外出が危険な場合は、家の中で少しでも安全な場所に移動して下さい。

さまざまな防災気象情報

防災情報提供センター(国土交通省)

http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/
http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html

- ●気象警報・注意報
- ●気象情報
- ●台風情報　●洪水予報
- ●土砂災害警戒情報　等

防災気象情報は、テレビ（気象放送、データ通信）、ラジオ、インターネット(Web、メール)、携帯電話（パケット通信、メール）等、様々な媒体から情報を入手できます。

すだちくんメール

登録無料

https://s.ourtokushima.jp

すだちくんメールとは、災害時の安否確認メールおよび気象情報・土砂災害警戒情報を徳島県から配信するサービスです。
登録後、「お知らせメールの設定」でメール配信を希望する速報・警報の種類や地域を指定してください。

頼りになる戸別受信機

避難勧告や避難指示などの避難情報は、防災無線でお知らせします。
戸別受信機は、常に電源を入れておき、停電に備えて電池を入れておきましょう。また、大雨シーズン前には、電池が切れていないか、音量は適切か、確認しておきましょう。

戸別受信機

避難情報の種類

避難情報の種類	発令時の状況	みなさんが取るべき行動
避難準備（災害時要配慮者避難）情報	・避難行動に時間を要する人が避難を始めなければならない段階 ・人的被害の発生する可能性が高まった状態	・災害時要配慮者等、避難行動に時間を要する人は、避難行動を開始。 ・その他の者は、通常の避難行動ができる人は、非常袋の用意・情報収集など避難の準備をする。
避難勧告	・災害が発生又は発生する恐れがあり、特別の対応が必要な状況 ・通常の避難行動ができる人が、避難しなければならない段階	・通常の避難行動ができる人は、避難を開始。 ・家族、近所で助け合いながら、洪水時緊急避難場所へすみやかに避難する。
避難指示	・前兆現象の発生や現在の切迫した状況、地域特性等から、人的被害の発生する危険性が非常に高い状況 ・人的被害が発生した状況	・消防団や警察等の指示に従って避難。 ・避難していない、避難できていない人は、直ちに確実な避難行動をとり、完了させる。 ・緊急避難場所へ避難する余裕がない時は、堅牢な建物の2階に避難するなどの生命を守る最低限の行動をとる。

避難の心得

避難勧告や避難指示があった場合は、防災マップに示されている洪水時の緊急避難場所へ避難して下さい。ただし、示された緊急避難場所への避難が困難な場合には、近くの堅牢な2階建て以上の建物へ避難させてもらいましょう。

災害を知る

洪水災害

人命や財産を奪う洪水災害。流れる水はすさまじい被害をもたらします。

土砂災害

大雨が降った場合、洪水災害だけでなく、土砂災害の発生も危惧されます。家や避難経路の土砂災害の危険箇所をあらかじめ確認しておいて下さい。
最新の危険箇所は以下の徳島県HPをご確認下さい。
土砂災害警戒区域等マップ、山地災害防災マップ
http://maps.pref.tokushima.jp/

裏面の地図に町内の土砂災害が起こりやすい場所を示しています。

災害に備える

大雨シーズンの前に

使用期限

梅雨や台風シーズン前には、緊急避難場所や危険箇所の確認、持ち出し袋の中身の点検等、災害への備えを行って下さ

避難判断 5つの情報

テレビ、ラジオからの気象情報と注意報・警報

もっとも身近で、基本的な情報が得られる情報源。梅雨や台風シーズンには、とくに最新情報を的確に収集するよう心掛けましょう。

ダムの放流情報

上流の正木ダムや棚野ダムからの放流により、勝浦川が増水します。
放流開始のサイレンが鳴ったら、急な増水に気を付けるとともに、放流中は、なるべく川に近づかないで下さい。

パソコン、携帯電話で知る洪水情報

勝浦川の水位は、リアルタイム（10分間隔）で観測されており、パソコンや携帯電話で見ることができます。
勝浦川洪水予報と他の情報を合わせて、避難判断に活用して下さい。

防災無線からの避難情報

災害が発生する恐れのある場合、勝浦町は防災行政無線で町民の皆さんへ避難を呼びかけます。
避難勧告や避難指示が出されたら、指示に従って、すみやかに避難して下さい。

周囲の状況による危険察知

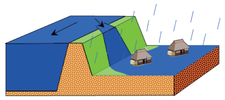
危険

以下の状況を察知したら、危険な状況が切迫しています。町からの避難勧告・避難指示の発令を待つことなく、**自分の判断で**早急に避難しましょう。

洪水災害の種類

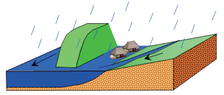
大雨などにより、住宅地や農地などに水があふれることを「氾濫」といいます。
洪水による「氾濫」は、発生の仕方によって以下の2種類に分けられます。

堤防の決壊や越水でおこる外水氾濫



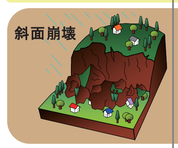
増水し勢いを増した水が堤防を壊したり、堤防を越える増水により、川から水があふれる水害。
堤防が決壊すると、水かさが一気に増し、避難は非常に困難になります。

支流が排水できずおこる内水氾濫

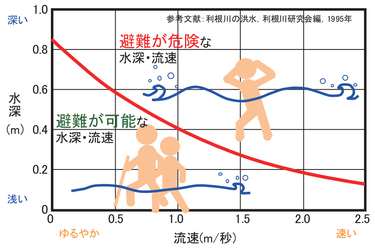


堤防の内側で守られた土地や山に降った雨水は、水路や谷川（支流）を伝って本川に排水されます。そうした雨水が、本川の増水によって排水されず、堤防の内側にたまって浸水被害を及ぼす水害。

土砂災害の種類

土砂災害の種類	解　説	前兆現象
斜面崩壊 	斜面が崩れ落ちる現象。 突然起こるため、人家の近くで起きると大変危険です。	・ガケや斜面に割れ目が見える。 ・ガケや斜面から水がわき出している。 ・ガケや斜面から小石がパラパラと落ちてくる。
土石流	大雨によって、山腹や川底の大きな岩を含む土砂が一気に下流へと押し流される現象。 その流れの速さは、規模によって異なりますが、時速20～40km。その破壊力は強大で、一瞬のうちに人家や畑を崩壊させてしまいます。	・雨が降り続いているのに川の水位が下がる。 ・急に川の流れが濁り流木が混ざっている。 ・地鳴りがする。 ・土臭いにおいがする。
地すべり	斜面が大規模にゆっくりとすべり落ちる現象。 一般に、移動する土砂が多いため、広範囲に被害を及ぼします。	・沢や井戸の水が濁る。 ・地面にひび割れができる。 ・斜面から水が吹き出す。 ・家やよう壁に亀裂が入る

水中歩行できる限界(水深と流速)



避難のポイント

洪水からの避難の基本は、浸水が始まる前に、早めに避難することです。
避難が遅れ、浸水した所をどうしても避難しなければならない場合は、できるだけ多くの複数人で、腰や手をお互いにしっかりつかまえ、水面下の足元を杖などで一歩ずつ確認しながら避難して下さい。

前兆をとらえ、直ちに避難

土砂災害発生前には、必ず前兆現象があります。前兆現象をいち早くとらえ、直ちに災害箇所から離れ、安全な場所へと避難しましょう。

土石流からの避難

土石流からの避難は、谷川から離れる方向へ、なるべく水平方向へ逃げましょう。

放流開始のサイレン(棚野ダム放流)

少量の水を放流する時

20秒サイレンが3回　→　約1分
20秒　休み10秒　休み10秒

大量の水を放流する時

60秒サイレンが3回　→　約3分
60秒　休み10秒　休み10秒

急に大量の水を放流する時

60秒サイレンが9回　→　約10分
60秒　休み10秒　休み10秒　9回

正木ダムの放流量

徳島県県土防災情報管理システム(徳島県)

http://www1.road.pref.tokushima.jp/
または、「徳島県県土防災情報管理システム」で検索し、「ダム情報状況図」から「正木ダム」をクリック

右のコードからアクセス

勝浦川の水位と氾濫危険度

勝浦川
横瀬観測所

	内　容	基準からの水位上昇
氾濫の発生		
氾濫危険水位	氾濫の恐れが生じる水位。本来、この水位に到達する前に**住民は避難完了しているべき**水位。	4.2m
避難判断水位	避難の必要も含めて、氾濫に対する警戒を要する水位。洪水警報が発令。	3.6m
氾濫注意水位	災害が起こる恐れがある水位。河川の氾濫の発生に注意。洪水注意報が発令。消防団出動。	3.0m
水防団待機水位	消防団が氾濫に備え待機する水位。	2.0m

横瀬観測所の水位情報

徳島県県土防災情報管理システム(徳島県)

http://www1.road.pref.tokushima.jp/
または、「徳島県防災情報管理システム」で検索し、「水位状況図」の「徳島」から「横瀬」をクリック

右のコードからアクセス

こんな時は早急に避難！

河川・水路

- ■水路等の**水はけ**が悪くなった
- ■避難経路が冠水しそう
- ■堤防や堤防裏の地面から水が噴き出す

土砂災害の前兆現象

斜面崩壊
- ■ガケや斜面に割れ目が見える
- ■ガケや斜面から水がわき出す
- ■ガケや斜面から小石がパラパラと落ちてくる

土石流
- ■雨が降り続いているのに、谷川の水位が下がる
- ■谷川が異常に濁ったり、流木が混ざる
- ■地鳴りがする
- ■土臭いにおいがする

地すべり
- ■沢や井戸の水が濁る
- ■地面にひび割れができる
- ■斜面から水が吹き出す
- ■家やよう壁に亀裂が入る

夜中に降雨ピークを迎える

■夜中の大雨の中の避難は、非常に危険です。夜中に降雨のピークを迎える場合は、明るいうちに避難しましょう。